

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第5895852号
(P5895852)

(45) 発行日 平成28年3月30日(2016.3.30)

(24) 登録日 平成28年3月11日(2016.3.11)

(51) Int.Cl.		F I	
G06F 13/00	(2006.01)	G06F 13/00	650B
H04M 1/00	(2006.01)	G06F 13/00	610C
H04M 1/247	(2006.01)	H04M 1/00	L
G06F 3/14	(2006.01)	H04M 1/247	
		G06F 3/14	370A

請求項の数 4 (全 11 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号	特願2012-557671 (P2012-557671)	(73) 特許権者	000004237
(86) (22) 出願日	平成23年11月30日(2011.11.30)		日本電気株式会社
(86) 国際出願番号	PCT/JP2011/006723		東京都港区芝五丁目7番1号
(87) 国際公開番号	W02012/111058	(74) 代理人	100103894
(87) 国際公開日	平成24年8月23日(2012.8.23)		弁理士 冢入 健
審査請求日	平成26年10月9日(2014.10.9)	(72) 発明者	中村 洋平
(31) 優先権主張番号	特願2011-29664 (P2011-29664)		神奈川県川崎市中原区下沼部1753番地
(32) 優先日	平成23年2月15日(2011.2.15)		NECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社内
(33) 優先権主張国	日本国(JP)	(72) 発明者	深澤 一哲
			神奈川県川崎市中原区下沼部1753番地
			NECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社内
		審査官	坂東 博司

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 携帯端末装置およびその画面表示方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

インスタントメッセージサービスをユーザに提供するアプリケーションプログラムであって、異なるユーザIDでサインイン済みの複数のインスタントメッセージサービスと、主表示領域と、当該主表示領域とは別に設けられる副表示領域と、を含む表示画面を表示する表示手段と、

前記表示手段の表示を制御し、前記複数のインスタントメッセージサービスのうちで選択されたいずれか1のインスタントメッセージサービスが提供するサービスの内容を前記主表示領域に表示すると共に、選択されなかった他のインスタントメッセージサービスについては対応するインスタントメッセージサービスアイコンを前記副表示領域に表示する表示制御手段と、

インスタントメッセージを端末装置が受信したことを検出し、インスタントメッセージの着信が発生した旨を通知するメッセージ通知手段と、

前記メッセージ通知手段からの通知に応じて、前記端末装置が受信したインスタントメッセージが、前記複数のインスタントメッセージサービスのうちでいずれのインスタントメッセージサービスに対するメッセージであるかを判断し、前記主表示領域において現在表示閲覧中のインスタントメッセージサービスに対するメッセージでなかった場合に、該当するインスタントメッセージサービスについて未読メッセージが存在することを表示させるべく、前記副表示領域において、対応する前記インスタントメッセージサービスアイコンの表示を視覚的に変化させるように、前記表示制御手段に対して表示画面更新命令を

出力するメッセージングユーザインタフェース連携手段と、
を備え、

前記メッセージングユーザインタフェース連携手段は、
前記端末装置が受信したインスタントメッセージに含まれるユーザIDから、前記複数の
インスタントメッセージサービスのうちでいずれのインスタントメッセージサービスに
対するメッセージであるかを判断する

携帯端末装置。

【請求項2】

前記メッセージングユーザインタフェース連携手段は、
前記端末装置が受信したインスタントメッセージが、前記主表示領域において現在表示
10 閲覧中のインスタントメッセージサービスに対するメッセージでなかった場合に、未読メ
ッセージの個数をカウントしてメモリに記憶し、前記副表示領域において、対応する前記
インスタントメッセージサービスアイコンの表示に加えて、前記メモリに記憶した未読メ
ッセージの個数を表示させる

ことを特徴とする請求項1に記載の携帯端末装置。

【請求項3】

主表示領域と、当該主表示領域とは別に設けられる副表示領域と、を含む表示画面の表
示を制御し、異なるユーザIDでサインイン済みの複数のインスタントメッセージサー
20 ビスのうちで選択されたいずれか1のインスタントメッセージサービスが提供するサー
ビスの内容を前記主表示領域に表示すると共に、選択されなかった他のインスタントメ
ッセージサービスについては対応するインスタントメッセージサービスアイコンを前記副表示領
域に表示する表示制御ステップと、

インスタントメッセージを端末装置が受信したことを検出し、インスタントメッセ
30 ージの着信が発生した旨を通知するメッセージ通知ステップと、

前記通知に応じて、前記端末装置が受信したインスタントメッセージが、前記複数の
インスタントメッセージサービスのうちでいずれのインスタントメッセージサービスに対
するメッセージであるかを判断し、前記主表示領域において現在表示閲覧中のインスタ
ントメッセージサービスに対するメッセージでなかった場合に、該当するインスタントメ
40 ッセージサービスについて未読メッセージが存在することを表示させるべく、前記副表示領
域において、対応する前記インスタントメッセージサービスアイコンの表示を視覚的に変
化させるように、表示画面更新命令を出力するメッセージングユーザインタフェース連
携ステップと、

を有し、

前記メッセージングユーザインタフェース連携ステップでは、
前記端末装置が受信したインスタントメッセージに含まれるユーザIDから、前記複数の
インスタントメッセージサービスのうちでいずれのインスタントメッセージサービスに
対するメッセージであるかを判断する

携帯端末装置の画面表示方法。

【請求項4】

前記メッセージングユーザインタフェース連携ステップでは、
40 前記端末装置が受信したインスタントメッセージが、前記主表示領域において現在表示
閲覧中のインスタントメッセージサービスに対するメッセージでなかった場合に、未読メ
ッセージの個数をカウントしてメモリに記憶し、前記副表示領域において、対応する前記
インスタントメッセージサービスアイコンの表示に加えて、前記メモリに記憶した未読メ
ッセージの個数を表示させる

ことを特徴とする請求項3に記載の携帯端末装置の画面表示方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、携帯端末装置およびその画面表示方法に関する。

10

20

30

40

50

【背景技術】

【0002】

近年、携帯電話端末やPDA(Personal Digital Assistant)等の携帯端末装置において、インスタントメッセージサービス(IMS:Instant Message Service)の提供が行われるようになってきている。IMSを利用することで、ネットワークを介して接続されたユーザ間で、短いメッセージをリアルタイムにやりとりすることができる。

【0003】

本発明に関連する技術として、例えば、特許文献1及び2などに開示される技術がある。特許文献1には、小型スクリーンデバイス上での、新しいイベントのプレビューイングを可能とする技術が開示されている。当該技術では、複数のアプリケーションを有するコンピュータデバイスに関して、その小型スクリーン上にそれら複数のアプリケーションのアイコンを表示している。そして、当該技術では、アプリケーションのイベント発生に応じて対応するアイコンを視覚的に変更し、さらに、その視覚的に変更したアプリケーションが選択された場合には、対応するアプリケーションのメッセージなどのプレビューイングを表示するものである。

10

【0004】

また、特許文献2には、携帯端末を介して、サーバとクライアント端末とがインスタントメッセージを含むデータ通信を行う通信システムが開示されている。当該通信システムでは、サーバから携帯端末にデータが送信されたことを、作業中のクライアント端末に速やかに知らせることを目的とするものである。

20

【先行技術文献】

【特許文献】

【0005】

【特許文献1】特表2007-512635号公報

【特許文献2】特開2010-086326号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

ところで、IMSは、多くの会社によって様々な種類のプログラムが提供されており、携帯端末装置のユーザにとっては、ある特定の1つのIMSの利用に限られず、複数のIMSを同時に利用できることと非常に便利である。

30

【0007】

しかし、ノートパソコンやデスクトップパソコンなどの比較的大きな表示画面を有する装置とは異なり、携帯端末装置の表示画面は小さく、表示内容やその表示方法について大きな制約が課せられている。このため、複数のIMSに関する情報を、限られた表示画面領域内において、いかにして表示させるかが問題となる。

【0008】

例えば、複数の種類のIMSが携帯端末装置にインストールされ、それらIMSにサインイン(Sign in)するためのアカウントをユーザが複数持っているような場合、本発明に関連する携帯端末装置では、ユーザは、サインインしたいアカウントを1つ選択して、その選択したアカウントに関して表示される内容のみを、表示画面に表示させていた。また、選択されたアカウントに関して表示される内容のみを、表示画面内においてできる限り大きく表示させていた。

40

【0009】

上述した本発明に関連する携帯端末装置にかかる表示方法を用いれば、ある1つのアカウントに関して表示される内容について、できる限り大きな表示範囲を確保しつつ常にその内容を表示させることができるものの、同時に利用したいアカウントが他にも存在していた場合には、他のアカウントの状況を知ることができない、という課題があった。

【0010】

例えば、他のアカウントについて未読メッセージの存在を確認するためには、本発明に

50

関連する携帯端末装置では、まずは、該当アカウントへのサインインを経た上でそのアカウントに関する内容を画面に表示させ、その上で、その表示画面内で未読メッセージの存在を確認する必要がある。このように、他のアカウントの未読メッセージの存在を確認するために、現在表示閲覧中のアカウントに関する画面から、該当のアカウントに関する画面へと切り替えて移動する必要がある、ユーザにとってその操作に手間がかかり、不便なものであった。

【 0 0 1 1 】

なお、特許文献 1 では、複数のアプリケーションによるサービスに関して、それらアプリケーションのアクティベーションアイコンを介してサービスのイベントをそれぞれチェックすることが不便であるために、スクリーン上に複数のアイコンを表示させておき、アプリケーションのイベント発生に応じて対応するアイコンを視覚的に変更することで、ユーザに新しいイベントを簡単に通知させるものである（段落 0 0 0 5、0 0 0 8 など）。さらに、特許文献 1 では、視覚的に変更されたアイコンが選択された場合には、対応するアプリケーションのメッセージなどの一部を、プレビューイングとして表示するものである（段落 0 0 0 8、図 6、7 など）。

10

【 0 0 1 2 】

このように、特許文献 1 では、複数のサービスのイベントをユーザが同時に把握するために、複数のアイコンを画面内に配置して表示させると共にイベント変化に応じて視覚的に変化させ、アイコンが選択されると初めてメッセージの一部がプレビューされる点が開示されているに過ぎない。

20

【 0 0 1 3 】

また、特許文献 2 では、ある 1 つの特定の I M S において送受信されるメッセージに関して、携帯端末からクライアント端末へのメッセージの送信状況や転送状況が、携帯端末やクライアント端末の画面内に表示される点が開示されているに過ぎない（図 1 3、図 1 5 など）。

【 0 0 1 4 】

すなわち、特許文献 1 や特許文献 2 に開示された技術では、複数の I M S のアカウントにサインインしている場合においても、ある 1 つのアカウントに関する内容を可能な限り大きな表示範囲を確保しつつ常に表示させ、同時に、他のアカウントについての未読メッセージの存在を確認すること、はできないものである。

30

【 0 0 1 5 】

そこで本発明の目的は、これらの課題を解決し、I M S の内容の表示方法に関して、複数の I M S のアカウントにサインインしている場合においても、ある 1 つの I M S の内容を可能な限り大きな表示範囲を確保しつつ常に表示させ、同時に、他の I M S についての未読メッセージの存在を確認することが可能な携帯端末装置及びその画面表示方法を提供することである。

【課題を解決するための手段】

【 0 0 1 6 】

本発明の第一の態様に係る携帯端末装置は、インスタントメッセージサービスをユーザに提供するアプリケーションプログラムであって、アカウントにサインイン済みの複数のインスタントメッセージサービスと、主表示領域と、当該主表示領域とは別に設けられる副表示領域と、を含む表示画面を表示する表示部と、前記表示部の表示を制御し、前記複数のインスタントメッセージサービスのうちで選択されたいずれか 1 のインスタントメッセージサービスが提供するサービスの内容を前記主表示領域に表示すると共に、選択されなかった他のインスタントメッセージサービスについては対応するインスタントメッセージサービスアイコンを前記副表示領域に表示する表示制御部と、インスタントメッセージを端末装置が受信したことを検出し、インスタントメッセージの着信が発生した旨を通知するメッセージ通知部と、前記メッセージ通知部からの通知に応じて、前記端末装置が受信したインスタントメッセージが、前記複数のインスタントメッセージサービスのうちでいずれのインスタントメッセージサービスに対するメッセージであるかを判断し、前記主

40

50

表示領域において現在表示閲覧中のインスタントメッセージサービスに対するメッセージでなかった場合に、該当するインスタントメッセージサービスについて未読メッセージが存在することを表示させるべく、前記副表示領域において、対応する前記インスタントメッセージサービスアイコンの表示を視覚的に変化させるように、前記表示制御部に対して表示画面更新命令を出力するメッセージングユーザインタフェース連携部と、を備えるものである。

【0017】

また、本発明の第二の態様に係る携帯端末装置の画面表示方法は、主表示領域と、当該主表示領域とは別に設けられる副表示領域と、を含む表示画面の表示を制御し、アカウントにサインイン済みの複数のインスタントメッセージサービスのうちで選択されたいずれか1のインスタントメッセージサービスが提供するサービスの内容を前記主表示領域に表示すると共に、選択されなかった他のインスタントメッセージサービスについては対応するインスタントメッセージサービスアイコンを前記副表示領域に表示する表示制御ステップと、インスタントメッセージを端末装置が受信したことを検出し、インスタントメッセージの着信が発生した旨を通知するメッセージ通知ステップと、前記通知に応じて、前記端末装置が受信したインスタントメッセージが、前記複数のインスタントメッセージサービスのうちでいずれのインスタントメッセージサービスに対するメッセージであるかを判断し、前記主表示領域において現在表示閲覧中のインスタントメッセージサービスに対するメッセージでなかった場合に、該当するインスタントメッセージサービスについて未読メッセージが存在することを表示させるべく、前記副表示領域において、対応する前記インスタントメッセージサービスアイコンの表示を視覚的に変化させるように、表示画面更新命令を出力するメッセージングユーザインタフェース連携ステップと、を有するものである。

【発明の効果】

【0018】

本発明によれば、IMSの表示手法に関して、複数のIMSのアカウントにサインインしている場合においても、ある1つのIMSの内容を可能な限り大きな表示範囲を確保しつつ常に表示させ、同時に、他のIMSについての未読メッセージの存在を確認することが可能な携帯端末装置及びその画面表示方法を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【0019】

【図1】実施の形態1にかかる携帯端末装置の機能ブロック図である。

【図2】実施の形態1にかかる携帯端末装置の画面表示である。

【図3】実施の形態1にかかる携帯端末装置の画面表示である。

【図4】実施の形態1にかかる画面表示手順を示すフローチャートである。

【発明を実施するための形態】

【0020】

実施の形態1.

以下、図面を参照して本発明の実施の形態について説明する。

図1は、本実施の形態に係る携帯端末装置の機能ブロック図である。携帯端末装置100は、サインイン済みの複数のIMS1~3 (Instant Message Service A、Instant Message Service B、Instant Message Service C) と、メッセージ通知部4と、Messaging UI連携部5と、表示制御部6と、表示部7と、を備えている。

【0021】

なお、図示は省略するが、携帯端末装置100は、プログラムに従って携帯端末装置100の各部を制御する制御部(CPU: Central Processing Unit)と、プログラム等を格納するROM (Read Only Memory) と、プログラム実行の際に用いられるRAM (Random Access Memory) と、ユーザが操作入力を行う入力操作部と、入力操作部に接続されて入力の検知を行う入力制御部と、基地局等を介して外部の装置との間でデータの送受信を行う無線通信部と、無線通信部の制御を行う無線通信制御部と、を備えている。

【 0 0 2 2 】

また、入力操作部は、携帯端末装置 1 0 0 が備えるユーザインタフェースであり、携帯端末装置 1 0 0 が備えるキーボードやタッチパネルなどの公知の入力装置を用いて実現される。ユーザは、キーボードをキー操作する、或いは、タッチパネルをタッチ操作することで、携帯端末装置 1 0 0 を操作することができる。

【 0 0 2 3 】

また、図 1 に示す例では、携帯端末装置 1 0 0 にインストールされている I M S のうちで、既にアカウントにサインイン済みの I M S を表示している。さらに、表示部 6 は、例えば、ハードウェア（回路）として構成してもよいし、或いは、同様の機能を有するソフトウェアとして構成し、携帯端末装置 1 0 0 にインストールするものとしてもよい。

10

【 0 0 2 4 】

I M S 1 ~ 3 (Instant Message Service A、Instant Message Service B、Instant Message Service C) は、インスタントメッセージサービスを提供するアプリケーションプログラムである。I M S 1 ~ 3 は、携帯端末装置 1 0 0 上においてそれぞれ動作し、外部装置からのインスタントメッセージ（以下、単にメッセージと称する場合がある。）の受信や、メッセージ表示データの生成などを行う機能を有している。また、I M S 1 ~ 3 は、メッセージの入力や、送信メッセージの生成などを行う機能についても有している。

【 0 0 2 5 】

ユーザは、例えばユーザ I D とパスワード等の認証を行うことで、I M S のアカウントへサインインすることができる。これにより、ユーザは、携帯端末装置 1 0 0 を利用して、インスタントメッセージサービスを利用することができる。

20

【 0 0 2 6 】

メッセージ通知部 4 は、メッセージを携帯端末装置 1 0 0 が受信したことを検出し、メッセージの着信が発生した旨を、M e s s a g i n g U I 連携部 5 に通知する。

【 0 0 2 7 】

M e s s a g i n g U I (メッセージングユーザインタフェース) 連携部 5 は、メッセージ通知部 4 からの通知に応じて、携帯端末装置 1 0 0 が受信したメッセージが、いずれの I M S に対するメッセージであるかを判断する。具体的に述べると、M e s s a g i n g U I 連携部 5 は、受信したメッセージに含まれるユーザ I D から、いずれの I M S に対するメッセージであるかを判断する。M e s s a g i n g U I 連携部 5 は、対応する I M S に対して、新着メッセージの到着を通知する。

30

【 0 0 2 8 】

M e s s a g i n g U I 連携部 5 は、上記判断の結果、現在表示閲覧中の I M S のメッセージでなかった場合には、該当する I M S について未読メッセージが存在することを表示画面に表示させるために、表示制御部 6 に対して表示画面更新命令を出力する。また、M e s s a g i n g U I 連携部 5 は、I M S についての未読メッセージが存在することに加えて、未読メッセージの個数についても表示画面に表示させることができる。M e s s a g i n g U I 連携部 5 は、例えば、現在表示閲覧中の I M S 以外の I M S についての未読メッセージの個数をカウントし、カウント値を R A M などに記録しておくことで、未読メッセージの個数を把握することができる。

40

【 0 0 2 9 】

さらに、M e s s a g i n g U I 連携部 5 は、メッセージの受信先となる I M S に対して、メッセージが到着したことを通知する。M e s s a g i n g U I 連携部 5 からの通知を受けた I M S は、メッセージを受信する。

【 0 0 3 0 】

表示制御部 6 は、表示部 7 に接続され、表示部 7 の表示を制御する。表示部 7 は、携帯端末装置 1 0 0 の本体の前面に配置された表示装置（不図示）を用いて実現され、例えば、白黒或いはカラーの液晶パネルや有機 E L (電子蛍光) 等が用いられる。詳細は後述するが、表示部 7 の表示画面には、主表示領域 1 0 と、主表示領域 1 0 とは別に設けられる副表示領域 2 0 と、が含まれている。表示制御部 6 は、複数の I M S のうちでユーザに選

50

扱されたいずれか1のIMSが提供するサービスの内容を主表示領域10に表示すると共に、選択されなかった他のIMSについては、対応するIMSアイコンを副表示領域20に表示する。

【0031】

図2及び図3は、本実施の形態に係る画面の表示例を示している。

図2では、表示画面110には、携帯端末装置100にインストール済みの複数のIMS1~3(Instant Message Service A、Instant Message Service B、Instant Message Service C)が表示されている。すなわち、図2では、携帯端末装置100にインストールされているIMSの一覧が表示されている。なお、図2に示す例では、3つのIMS1~3を一覧に表示しているが、4以上のIMSがインストールされて表示されてもよいし、1又は2のIMSがインストールされて表示されてもよい。

10

【0032】

図2の状態、インストール済みのIMSの一覧からサインインしたいIMSをユーザが選択すると、そのIMSについてのユーザ情報入力画面に切り替わる。ユーザ情報入力画面において、ユーザID及びパスワードをユーザが入力することで、該当のIMSのアカウントにサインインすることができる。そして、ユーザ情報入力画面でのサインインが終了すると表示画面は再び図2に示す表示画面に戻る。図2に示す表示画面に戻った後、サインイン済みのIMSをユーザが選択すると、図3へと画面の表示が切り替えられ、ユーザが選択したIMSのメッセージの内容が主表示領域10に表示される。例えば、図2に示すインストール済みのIMS1~3の全てについてユーザ入力画面でのサインインが行われた場合(すなわち、IMS1~3の全てについてサインイン済みとなった場合)に、図2に示す表示画面においてInstant Message Service A(IMS1)をユーザが選択することで、図3に例示する画面へと、画面の表示が切り替えられる。

20

【0033】

図3に例示するように、表示画面110は、主表示領域10と、副表示領域20と、を有している。図3では、主表示領域10の領域上部に隣接して副表示領域20が設けられている。主表示領域10は、ユーザが選択したIMSのメッセージを表示するために使用される。副表示領域20は、主表示領域10とは別に設けられ、ユーザに選択されなかったIMSについてのメッセージの未読状況を表示するために使用される。すなわち、ユーザが選択したIMSのメッセージの内容が主表示領域10に表示され、選択されなかったIMSについてのメッセージの未読状況が副表示領域20に表示される。ユーザが選択したIMSのメッセージの内容を常に表示するために、表示画面110における主表示領域10が占める範囲は、副表示領域20が占める範囲と比較して、相対的により大きな範囲を占めている。

30

【0034】

また、図3では、副表示領域20に、ユーザに選択されなかったIMSについて、各IMSをそれぞれ示すIMSアイコン21、22が表示されている。さらに、IMSアイコン21には、未読メッセージの存在を示す未読メッセージ存在アイコン31が表示されている。すなわち、ユーザに選択されなかったIMSについては、IMSの存在と未読メッセージの存在のみが副表示領域20に表示される。

40

【0035】

なお、未読メッセージ存在アイコン31については、未読メッセージが存在する場合のみ、IMSアイコン21に加えて未読メッセージ存在アイコン31を表示するものとしてもよい。また、未読メッセージの個数を、未読メッセージ存在アイコン31上に表示してもよい。IMSアイコン21、22や、未読メッセージ存在アイコン31のレイアウトやデザインについては特に限定されず、他のレイアウトやデザインを採用するものとしてもよい。

【0036】

図3に示す例では、主表示領域10には、ユーザが選択したIMS1(Instant Message Service A)の内容が表示されており、他のユーザとの間でやりとりするメッセージの

50

内容などが表示される。副表示領域 20 には、ユーザに選択されなかった I M S 2 (Instant Message Service B) を示す I M S アイコン 21 と、ユーザに選択されなかった I M S 3 (Instant Message Service C) を示す I M S アイコン 22 と、が表示されている。さらに、I M S 2 (Instant Message Service B) に関して未読メッセージが存在するために、副表示領域 20 の I M S アイコン 21 において未読メッセージ存在アイコン 31 が表示されている。

【 0037 】

図 4 は、本実施の形態に係る画面表示手順を示すフローチャートである。なお、図 4 では、主表示領域 10 には、ユーザが選択した I M S 1 (Instant Message Service A) の内容が表示されている場合を例に説明する (すなわち、I M 1 の内容をユーザが現在表示閲覧中である。) 。

10

【 0038 】

まず、I M S 1 (Instant Message Service A) の内容が主表示領域 10 に表示されている状態で (S 1) 、携帯端末装置 100 に新着メッセージが到着した場合、メッセージ通知部 4 は、新着メッセージが到着したことを、M e s s a g i n g U I 連携部 5 に通知する (S 2) 。

【 0039 】

通知を受けた M e s s a g i n g U I 連携部 5 は、新着メッセージが、現在表示閲覧中の I M S 1 のアカウントに対するメッセージであるか否かを判断する (S 3) 。判断の結果、I M S 1 に対するメッセージでない場合には、M e s s a g i n g U I 連携部 5 は、副表示領域 20 において、対応する I M S アイコンの表示を視覚的に変化させるように、表示制御部 6 に対して表示画面更新命令を出力する (S 4) 。より具体的には、M e s s a g i n g U I 連携部 5 は、副表示領域 20 において、対応する I M S についての I M S アイコン上の未読メッセージ存在アイコンを更新する。これにより、現在表示閲覧中の I M S 以外の I M S について未読メッセージが存在することが、副表示領域 20 に表示される。

20

【 0040 】

判断の結果、I M S 1 に対するメッセージである場合には、M e s s a g i n g U I 連携部 5 から I M S 1 に対して、メッセージが到着したことが通知される。通知を受けた I M S 1 は、受信したメッセージからメッセージ表示データの生成などを行い、表示制御部 6 に対して表示画面更新命令を出力して、主表示領域 10 において、新着メッセージを表示する (S 5) 。これにより、現在表示閲覧中の I M S について、新着メッセージの内容が、主表示領域 10 に表示される。

30

【 0041 】

なお、主表示領域 10 において表示させたい I M S を切り替えたい場合には、ユーザは、例えば、副表示領域 20 の I M S アイコン 21、22 をタッチ操作すればよい。例えば、副表示領域 20 の I M S アイコン 21 がタッチ操作された場合には、I M S 2 が、そのメッセージを主表示領域 10 に表示し、また、M e s s a g i n g U I 連携部 5 が、副表示領域 20 において、I M S 1 についての I M S アイコンを表示する。

【 0042 】

40

上述した手順に従えば、図 3 に例示したように、I M S 1 (Instant Message Service A) を主表示領域 10 に表示中に、サインイン済みの I M S 2 (Instant Message Service B) に対する新着メッセージが到着した場合には、メッセージ通知部 4 からの通知を受けた M e s s a g i n g U I 連携部 5 が、現在表示閲覧中の I M S 1 に対するメッセージではなくて I M S 2 に対するメッセージが到着したことを判断し、I M S 2 の I M S アイコン 21 に未読メッセージ存在アイコン 31 を表示させるように、表示制御部 6 に対して表示画面更新命令を出力する。M e s s a g i n g U I 連携部 5 からの表示命令を受けた表示制御部 6 は、表示部 7 に対して表示画面更新命令を出力する。さらに、副表示領域 20 の I M S アイコン 21 において未読メッセージ存在アイコン 31 が表示される。

【 0043 】

50

従って、ユーザは、複数のIMS 1～3のアカウントにサインインした状態で、IMS 1の内容を主表示領域10に常に表示させたままで、同時に、他のIMS (IMS 2やIMS 3) についての未読メッセージの存在を確認することができる。また、ユーザは、他のIMS (IMS 2やIMS 3) の新着メッセージの到着と未読メッセージの存在を、画面を切り替えることなく知ることができる。

【0044】

なお、本発明は上記実施の形態に限られたものではなく、趣旨を逸脱しない範囲で適宜変更することが可能である。

【0045】

以上、実施の形態を参照して本願発明を説明したが、本願発明は上記によって限定されるものではない。本願発明の構成や詳細には、発明の範囲内で当業者が理解し得る様々な変更をすることができる。

10

【0046】

この出願は、2011年2月15日に出願された日本出願特願2011-029664を基礎とする優先権を主張し、その開示の全てをここに取り込む。

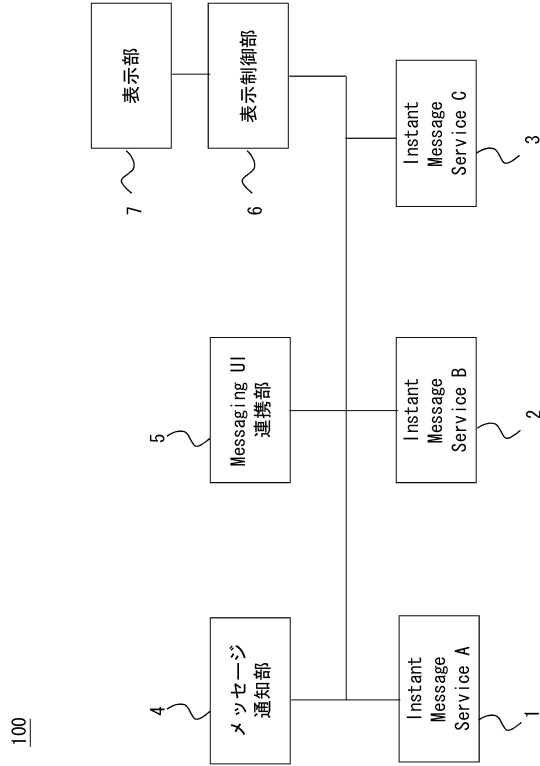
【符号の説明】

【0047】

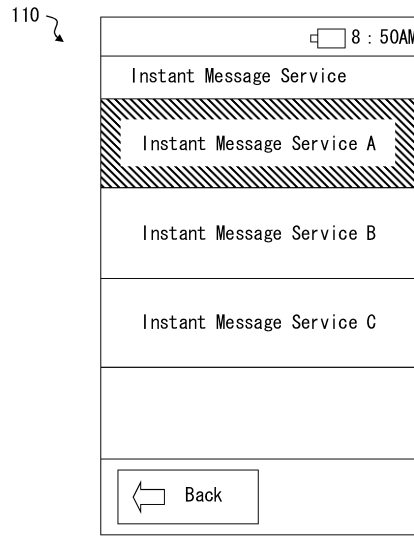
- 100 携帯端末装置、
- 1～3 IMS、
- 4 メッセージ通知部、
- 5 Messaging UI連携部、
- 6 表示制御部、
- 7 表示部、
- 110 表示画面、
- 10 主表示領域、
- 20 副表示領域、
- 21、22 IMSアイコン、
- 31 未読メッセージ存在アイコン

20

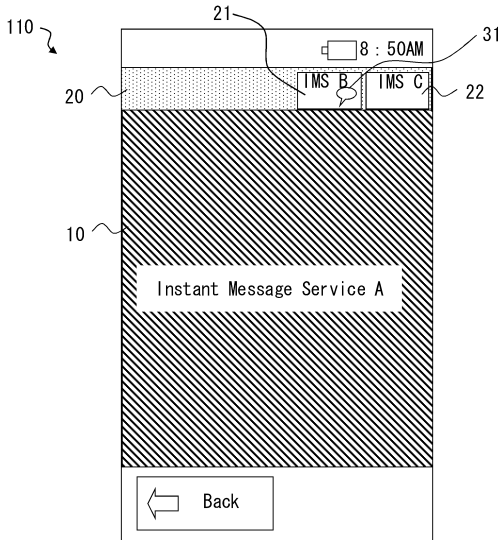
【図1】



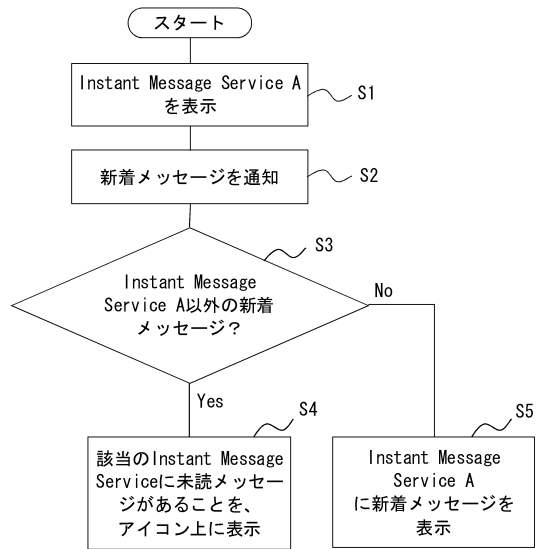
【図2】



【図3】



【図4】



フロントページの続き

(51)Int.Cl. F I
G 0 6 F 3/14 3 2 0 A

(56)参考文献 特表2007-512635(JP,A)
特開2006-351020(JP,A)
特開平10-154117(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
G 0 6 F 1 3 / 0 0
G 0 6 F 3 / 1 4
H 0 4 M 1 / 0 0
H 0 4 M 1 / 2 4 7